

『授業連携報告書』

学校名	四日市市立常磐小学校				
授業のテーマ	理科「おもちゃランド」				
目標(授業連携をした目的等)	おもちゃ作り(かさ袋ロケット)を進める中で、「宇宙」という観点を持ちながら、工夫してより遠くまで飛ぶロケットを作ろうとする。				
実施対象	学年	3年	3	クラス	合計 95 名
授業科目	理科	科目「その他」の場合記入)			
単元	おもちゃランド		授業日	3 月	3・4 日

授業連携の前後の授業内容について

前	今までに学習したことを利用しておもちゃ作りをする。もっと違うおもちゃはないか想像を広げる。
後	おもちゃ作りや宇宙の話を振り返って、楽しかったことを文章で表現する。

時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 5分	あいさつ・講師紹介		学校
展開 75分	① 宇宙やロケットについて知る ② 宇宙についての質問コーナー ③ かさ袋ロケットを作る	ロケットについてのお話では、ロケットの発射の動画をみて驚く様子が見られた。 質問コーナーには、多くの児童が挙手をし、「宇宙食は何種類ほどあるのか」「宇宙でトイレに行きたくなくなったどうするのか」「寝るときは何を着て寝ているのか」「土星の輪は何からできているのか」など、リアルタイムで質問に答えてもらえてうれしそうであった。 かさ袋ロケットは、空気を入れることが難しかったが、重心を紙の位置で変えることで飛ぶ距離が変わることに気づくことができた。	①JAXA ②学校(児童の指名) JAXA(回答) ③説明: JAXA 児童のサポート: 学校
まとめ 10分	① 感想の交流 ② まとめ	かさ袋を作って楽しかったことや、質問に答えてもらえてうれしかった気持ちを発表することができた。	① 学校(児童の指名) ② JAXA

授業連携の感想・メモ

コロナ禍で、来校していただくことはかなわなかったが、ZOOMを使って貴重な動画や資料を共有していただきながら、子どもたちが宇宙に関心を持てるように工夫していただき大変よかった。かさ袋ロケットづくりでは、一人ひとりが、重心をどこに持つとよく飛ぶのか考え、何度も飛ばす姿が見られた。教室に帰ってきてからも、かさ袋ロケットの話が出ており、楽しかったことがよく分かった。貴重な時間をありがとうございました。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。	
自分の生活の中に、多くの「宇宙に関わること」があることに気づいたことで、宇宙を「身近」に感じられるようになった。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	